

平成 30 年度 算数科年間指導計画 [6年]

教科書：東京書籍

月	単元・教材	時数	単元の目標
4	1 つりあいのとれた形を調べよう (1)線対称 (2)点対称 (3)多角形と対称	13	●対称な図形の観察や構成を通して、その意味や性質を理解し、図形に対する感覚を豊かにすることができる。
5	2 円の面積の求め方を考えよう (1)円の面積	7	●円の面積について求め方を理解し、計算によって求めることができる。
	3 文字を使って式に表そう (1)文字と式	5	●具体的な場面について、数量の関係を文字を用いて式で一般的に表したり、文字を用いた式から数量の関係を読み取って具体的な場面に表したりすることを通して、式を活用する能力を伸ばすことができる。
6	4 分数のかけ算を考えよう (1)分数のかけ算	10	●乗数が分数の場合の、乗法の意味や計算の仕方、乗法の性質や計算法則が成り立つことを理解し、それらを用いる能力を伸ばすことができる。
	★ かたちであそぼう	1	●輪を使っていろいろな形を作る活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わうことができる。
	5 分数のわり算を考えよう (1)分数のわり算	12	●除数が分数の場合の、除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばすことができる。
7	★ どんな計算になるのかな？	1	●分数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばすことができる。
	6 角柱や円柱の体積の求め方を考えよう (1)角柱と円柱の体積	6	●角柱や円柱の体積の求め方を理解し、計算によって求めることができるようにするとともに、それらの図形についての理解を深めることができる。
	7 およその面積や体積を求めよう【課題発見・解決学習】 (1)およその面積や体積	4	●身の回りにあるものの形について、その概形をとらえ、およその面積や体積を求めるとともに、目的に応じて能率よく測定する能力を伸ばすことができる。
8 9	8 割合の表し方を考えよう (1)比と比の値 (2)等しい比の性質 (3)比の利用	10	●2つの数量の割合を表す方法として、比について理解し、生活や学習で活用する能力を伸ばすことができる。
	9 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう (1)拡大図と縮図 (2)縮図の利用	9	●拡大図や縮図の観察やかくことを通して、拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形の理解を深め、図形に対する感覚を豊かにすることができる。
10	★ 算数の目で見てみよう	2	●既習事項を活用して、グラフを考察し、問題解決能力や情報処理能力を高めることができる。
	10 速さの表し方を考えよう (1)速さ	13	●速さについて理解するとともに、求めることができ、生活や学習に活用する能力を伸ばすことができる。
	11 比例をくわしく調べよう (1)比例の式 (2)比例の性質 (3)比例のグラフ (4)比例の利用 (5)反比例 【課題発見・解決学習】	19	●伴って変わる2つの数量の関係を考察することを通して、比例や反比例の関係について理解し、関数の考えを伸ばすことができる。
11	★ かたちであそぼう	1	●折り紙を折り、いろいろな模様をかいて切り抜く活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わうことができる。
	★ 考える力をのばそう	2	●図や表に表すよさを認め、既習の考えを活用して、問題を解決する能力を高めることができる。

12	12 順序よく整理して調べよう (1)並べ方 (2)組み合わせ方 ★ 考える力をのばそう	8	●具体的な事柄について，起こり得る場合を順序よく整理して調べることができ，筋道立てて考えを進めていこうとする態度を身につけることができる。
		2	●変化する2つの数量を表に表すことを通して，数量関係や規則性を見つけて，問題を解決する能力を高めることができる。
1	13 資料の持ちようを調べよう (1)平均とちらばり (2)柱状グラフ (3)いろいろなグラフ	11	●代表値としての平均や散らばり，度数分布について理解するとともに，目的に応じてそれらを用いて，統計的に考察したり表現したりすることができる。
	14 量の単位のしくみを調べよう (1)量の単位のしくみ ★ 算数の目で見てみよう	8 (10)	●メートル法とその単位の仕組みについて統合的に理解し，測定においてこれらの単位を有効に用いることができる。
	★ 算数のまとめ	2	●メートル法とその単位の仕組みについて統合的に理解し，測定においてこれらの単位を有効に用いることができる。 ●既習事項を活用して，グラフや表を考察し，問題解決能力や情報処理能力を高めることができる。
	★ 算数卒業旅行	17	●数のしくみ，計算のきまり，数量の関係，図形，単位，比例・反比例，いろいろなグラフ等の学習内容を深めることができる。
		12 (10)	●算数に関する国内外の話題や数学史にふれ，算数・数学への関心を高めることができる。
計		175 時間	

評価方法	学習の様子，準備物や家庭学習（長期休業の宿題を含む），提出物の状況 ワークシート，ノート，発言の内容，テスト等
家庭へのお願い	○学習で使用する物・・・教科書，計算ドリル，ノート，算数文具 ○家庭学習 テストの見直し，つまずきの把握・見直し 計算ドリルで反復練習 自学での取り組み（学習内容の予習・復習） ☆家庭学習への支援をお願いします。